

低入札調査の実施概要

業 務 名：成瀬皆瀬国営施設応急対策事業 皆瀬ダム取水施設測量調査業務
調査対象業者名：株式会社水建技術

調査項目	内 容
1. 当該価格により入札した理由	現時点において契約金額 500 万円以上の手持ち業務が 2 件（測量業務 1 件、補償業務 1 件）であり、そのうち、測量業務については令和 6 年 7 月 31 日で業務が完了予定であり、今後の競争参加資格の確保を図るためにも地質（ボーリング）調査での業務実績を増やすべく入札を行った旨、説明があった。 また、本業務の入札に当たり、社内で検討した結果、品質確保を大前提に、技術者の実績・社内体制等を考慮し、作業を効率的に進めることができると判断し、積算上の諸経費を企業努力により極力削減して入札を行ったことを確認した。
2. 入札価格の内訳書、内訳書に対する明細書	提出された資料と聞き取りにより、「直接測量費」は予定価格の 96.5%、「直接調査費」は 104.8%確保されており、業務執行に必要な員数を確保し計上していることを確認した。 また、「諸経費」についても、これまでの実績から必要額を算出し、企業運営が可能な額を計上していることを確認した。 併せて、「再委託」についても、過去の委託実績・成果を踏まえ業者選定すると同時に、委託内容等を精査し、見積聴取等を行っていることを確認した。
3. 当該業務の履行体制	当該業務については、管理技術者 1 名・照査技術者 1 名・担当技術者 3 名・担当者 3 名の合計 8 名体制で行うことを確認した。 併せて、全員が自社の正社員であること、受注時には当該業務の専属として従事することを確認した。
4. 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況	現在の業務については、県発注の測量業務（繰越）1 件（履行期間令和 6 年 7 月末）、補償業務 2 件（500 万円以上 1 件・500 万円未満 1 件）の状況であることを確認した。 なお、当該業務の開始時期と県発注の測量業務の履行期間が 2 カ月ほど重複するが、前倒しで作業を行っており、そのため手持ち業務には余裕があることを確認した。
5. 配置予定技術者名簿	本業務に必要な測量士等の資格について、登録証明書の写し等により確認した。 併せて、本業務を受注した際には、配置予定の技術者等が専属として従事できるように社内環境を整えることを確認した（前記 4 記載の県発注業務に当該業務の従事者 3 名が重複する）。
6. 手持ち機械等の状況	本業務で使用予定の機器については応札者又は再委託者が所有していることを確認した。 併せて、応札者が所有している測量機器・UAV について、検定状況（（公社）日本測量協会の検定証明済）及び操作に必要な免許取得状況について確認した。
7. 過去において受注・履行した同種又は類似の業務の名称及び発注者	管理技術者・照査技術者は、国や県等発注業務の経験が豊富であること、担当技術者も現在受注している県発注測量業務を中心に業務経験があることを確認した。
8. 当該業務の品質確保計画の内容	今回提出のあった品質確保計画に則って成果品質の確保に努めるとともに、ボーリング調査の資料取りまとめ（解析）にあつては、ボーリング柱状図の作成時及び各種計測結果の評価・解析及び電子成果物の作成に関しても自社の技術者で対応可能の説明があり、特別仕様書に記載している打合せにも管理技術者が立ち会うことを確認した。
9. 決算報告書	直近 3 年度の決算報告書（貸借対照表、損益計算書等）により財務状況を確認したところ、どの期においても当期純損失はなく、会社運営上必要な短期借入・長期借入についても計画的に実施・返済を行っており、経営上は問題ないことを確認した。